

骨粗鬆症の検査が、 X線を使う方法から、**超音波方式**にかわりました！

従来は、X線を使って手のレントゲン撮影をしていましたが、
超音波方式はX線を使いませんので、

放射線被ばくの心配がありません。

測定時間は**約10秒**です。

骨密度が減少すると、骨そのものがもろくなり、骨折のリスクが高くなります。

この骨密度の減少は、まったく自覚症状なしに進行していき、骨折して初めて「骨粗鬆症」と診断される方も数多くいらっしゃいます。



機械にカカトを置くだけで測定できます。